

2020長野県地公労学習会

こころと命のゲートキーパー

私たちにできること 一緒に学び、考えませんか

講師：NPO法人日本ゲートキーパー協会 大小原利信さん

日時：2020年2月28日(金)17:30～(90分)

場所：長野市 長野県労働会館 5F大会議室

地公労：県教組・高教組・企業局労組・県職労の組合員(100人)

後援：長野県、長野県教育委員会、長野県企業局

子どもものの自殺を防げ
異はひ月、自殺未遂や自傷行為の経験があるが、自慰に力がかかるリスカを繰り返す子どもも少なくない。その多くは、

た子どもの初発は、思春期となる。ハッキリして、学校から退学、リスカの調査でも、回復に時間がかかっている。当時は学校の教員や



【略歴】ITメーカーを2009年に早期退職し14年から現職。前橋、伊勢崎市の自殺対策推進協議会委員や、安中総合高の非常勤講師を務める。高崎工業高卒。

未成年自殺死亡率3.87

10万人当たり 全国で5番目に高く

2017年の長野県、自殺に追い込まれ、昨秋、失恋なく、直近の人口10万人当たり未成年自殺率は3.87。成層の低下や親からの「たゲースもあつた。」に関する問題、女は

ゲートキーパー (Gatekeeper) とは、身近な人の自殺の危険を示すサインに気づき、その人の話を受け止め、必要に応じて専門相談機関につなぎ、見守る、言わば「命の門番」とも位置付けられる人のことです。

参加を希望される方は組合書記局まで申し込みください。